

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年7月7日

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	能代市	代表者名	齊藤 滋宣
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0185-89-2189
担当者役職	主事	担当者氏名	戸松 亮太
住所	016-8501 秋田県能代市上町1番3号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体DXの概要・目的などの基礎知識のほか、計画策定にあたっての留意事項など、具体的な事例を紹介いただいたうえで、講演いただいたことにより、委員と担当職員で、DXについての基礎知識や考え方を学び、認識を共有することができました。
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続き、ご相談をさせていただきたく存じます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月6日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			14時10分	15時10分	0
				活動時間 (分)	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	委員、担当職員	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	計画策定にあたり、DXに対する認識共有のための委員向け説明会や講演会を開催しようにも、計画策定経験のある講師候補者がいなかったこと。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	委員と担当職員で、DXについての基礎知識や考え方を学び、認識を共有すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの概要・目的などの基礎知識のほか、計画策定にあたっての留意事項など、具体的な事例を紹介いただいたうえで、講演いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容	DXに対する認識の共有ができました。	

(具体的にご記入下さい)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 講演のため、具体的な成果物はありません。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演のため、特にありません。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 委員向けのDXに関する基礎的な講演をいただきましたが、DXに対する認識の共有が目的であり、分析・評価等をしなかったため、アンケートを実施しておりません。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	能代市DX推進計画の策定

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

Zoom ミーティング

Hiroyuki Kawaguchi の画面を表示しています

ビュー オプション

能代市 地域情報...

能代市

Hiroyuki Kawaguchi

能代市 地域情報課 1

能代市 映像用

能代市

レコーディングしています...

Hiro KAWAGUCHI Laboratory

自治体DX推進手順書(全体手順書の項目)

STEP 0 **DXの認識共有・機運醸成**
・ 首長、CIO、情報担当部局等は、業務担当部門職員や若手職員等との意見交換などを通じ、現場の課題を把握するとともに、DXの認識共有・取組の機運醸成を図る。

STEP 1 **全体方針を決定する**
① DX推進の意義を整理
② 当面の取組みの全体フレームを決定する
※ 決定した方針を「基本方針」や「計画」といった形でとりまとめることが考えられる。 見直し

STEP 2 **推進体制を整備する**
① 全体方針を踏まえて、必要な体制を決定する
② 内部人材が不足する場合には、外部人材を確保する
③ 短期・中長期の両面から、内部人材の育成方針を決定する 見直し

STEP 3 **DXの取組みの実行**
・ 個別プロジェクト手順書等を踏まえて、個別のDXの取組みを計画的に実行する。 見直し

ミュート解除 ビデオの開始 セキュリティ 参加者 画面の共有 アプリ ホワイトボード 詳細 終了

